

恵庭市産業連関表について

1 目的

- 地域政策や EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング＝エビデンスに基づく政策立案）の推進のためには、地域経済構造を把握できる産業連関表は有益なツールであるとして、総合戦略の中でも産業連関表を作成することを目標としていた
- 北海道開発局と北海道文教大学地域創造研究センターが連携して、市町村向け産業連関表の作成マニュアル、補助ツールを提供することにより、道内市町村等の産業連関表への理解を深めるとともに、作成・利活用を促進していることから、令和5年度のモデル地域として恵庭市を選定

2 作成体制

- 北海道開発局、北海道文教大学地域創造研究センター、
（株）北海道二十一世紀総合研究所、恵庭市
- 北海道開発局と北海道文教大学地域創造研究センターが主体となった、モデル地域事業として市が協力
- 北海道開発局が産業連関表活用の手引きを公表（令和6年度予定）し、市町村等での作成・利活用を支援

3 作成手法

- セミサーベイ法
～事業者を対象にアンケートやヒアリング調査を実施するとともに、令和3年経済センサス、平成27年北海道産業連関表、恵庭市の各種統計資料を元に作成
- 対象年次～令和2年
- 部門数～112部門を推計・作成し、それを62部門、33部門に統合した表も作成

4 恵庭市の経済概況（3ページ参照）

- 令和2年恵庭市を供給側からみると、総供給は7,922億円で、その内訳は、「市内生産」が4,515億円（57%）、「輸移入」が3,407億円（43%）
- 需要側からみると、総需要は7,922億円で、その内訳は「中間需要」向けが1,776億円（22%）、「市内最終需要」向けが4,080億円（51%）、「輸移出」が2,066億円（26%）

5 過去、道内他都市との比較

- 令和2年恵庭市を道内他都市と比較すると、人口1人当たり生産額、付加価値額が高い、産業全体の自給率が低いという特徴がある
- 平成17年に作成した恵庭市表と比較すると、付加価値額（人口1人当たりも）は増加、生産額、自給率は減少、域際収支は減少（赤字幅が拡大）している

【過去、道内他都市との比較の表】

	H17恵庭市	R2恵庭市	北海道	札幌市	小樽市	名寄市	富良野市	釧路市	別海町	
生産額 (百万円)	456,461	451,468	35,566,092	10,663,126	717,847	180,431	133,329	1,118,378	185,481	
粗付加価値額 (百万円)	243,215	273,840	20,714,753	6,787,649	396,602	107,960	78,932	618,611	77,562	
産業全体の自給率	47.89%	41.82%	75.38%	69.60%	49.39%	56.63%	53.22%	57.43%	50.73%	
生産波及係数 (産業平均 19部門)	1.2000	1.1144	1.4371	1.2650	1.1669	1.1816	1.1334	1.2201	1.1582	
域際収支 (百万円)	輸移出額 (百万円)	186,020	206,590	7,183,046	2,961,372	323,566	64,303	57,873	460,577	90,784
	輸移入額 (百万円)	-294,274	-340,701	-9,270,699	-3,358,258	-403,976	-106,322	-66,334	-487,575	-91,959
	域際収支 (輸移出額+輸移入額)	-108,254	-134,112	-2,087,653	-396,886	-80,410	-42,019	-8,461	-26,999	-1,175
人口1人当たり生産額 (百万円)	6.79	6.45	6.55	5.51	5.74	6.20	6.08	6.27	11.52	
人口1人当たり付加価値額 (百万円)	3.62	3.91	3.81	3.51	3.17	3.71	3.60	3.47	4.82	
人口1人当たり輸移出額 (百万円)	2.77	2.95	106.79	44.03	4.81	0.96	0.86	6.85	1.35	
人口1人当たり輸移入額 (百万円)	-4.37	-4.86	-137.83	-49.93	-6.01	-1.58	-0.99	-7.25	-1.37	
人口1人当たり域際収支 (百万円)	-1.61	-1.91	-0.38	-0.21	-0.64	-1.44	-0.39	-0.15	-0.07	
人口 (住民基本台帳1.1現在)	67,263	70,049	5,431,658	1,936,016	125,028	29,099	21,921	178,394	16,101	
備考	平成17年	令和2年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	令和元年	平成27年	平成23年	

6 イベントでの経済波及効果

- 令和2年恵庭市産業連関表を用いて、えにわハッピーハロウィンイベントの経済波及効果を算定した。(会場において来場者にアンケートを実施)
- イベント来場者の総消費額は768万円、地域への経済波及効果は1.05倍の807万円となり、商業、金融・保険・不動産、運輸・情報通信等の各産業へ波及がみられた
- イベント運営、準備のための総支出額は198万円、地域への経済波及効果は1.14倍の225万円となっている

7 今後の利活用

- 関係所管課と勉強会の開催
- 市で実施するイベントでの経済波及効果の検証
- 施策立案などの際の活用方法について検討していく

恵庭市の経済概況の図

